

令和7年度 学校関係者評価アンケートの集計と考察

世田谷区立千歳中学校
学校関係者評価委員会

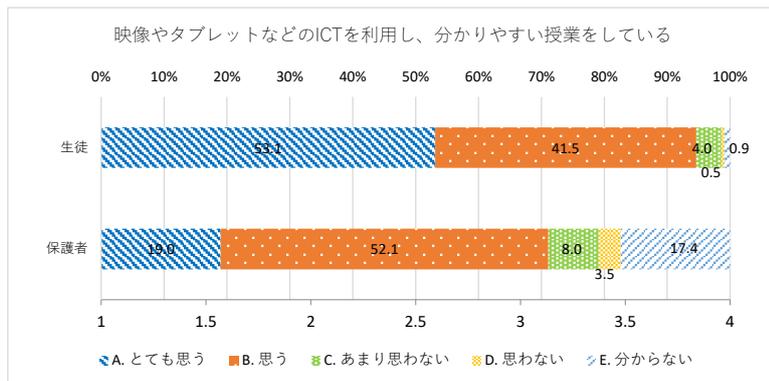
学校関係者評価を下記にまとめましたのでご報告いたします。

今回の評価結果を次年度の学校経営にご活用いただき、千歳中学校がなお一層発展されることを祈念いたします。

【調査結果の概要】

回収率は**58.3%**でした。アンケートにご協力いただきましたみなさまにお礼を申し上げます。
回収率についてはリマインドの適切な頻度を模索しており、今後の課題として共有しました。
調査結果は全体的に高評価を感じられました。

◇学習指導について

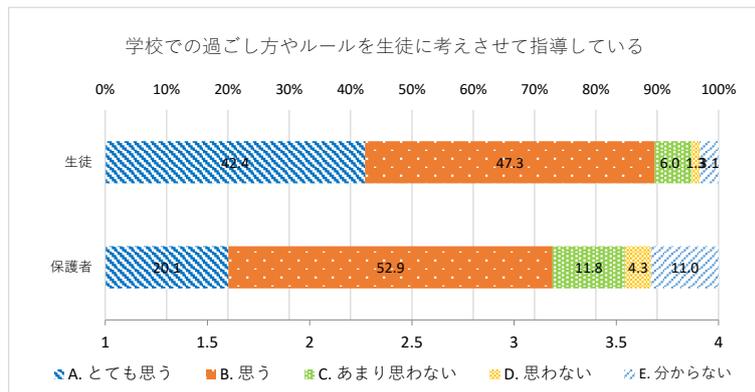


【考察】

生徒、保護者共に学習指導全般について肯定的評価の割合が多く、授業における学習指導が行き届いていることが伺えます。タブレットなども、授業で十分に活用されていることが伺えます。一方で、情報端末が必要不可欠な教材となればなるほど、端末の扱い方、情報の共有方法や制限について学ぶ必要があり、このことについては学校に任せるのではなく、家庭においても今後の課題として考える必要があると思います。

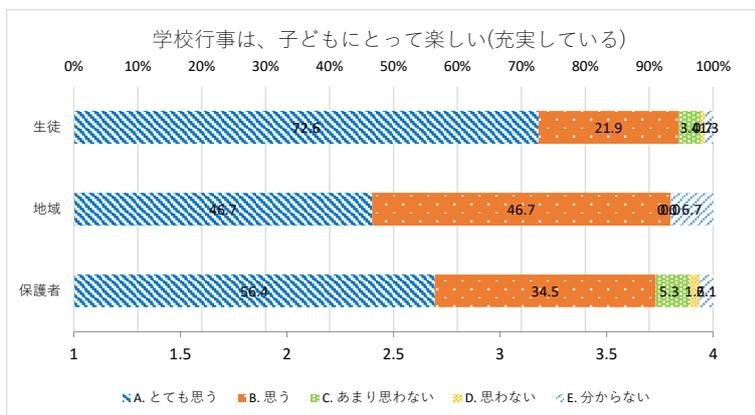
また、学ぶことが楽しいという項目については他の項目と比べるとやや数値が低く、授業で習得したことを自らの学びに生かす方法を身に付けることがこれからの子供たちには必要であると感じました。

◇生活指導について



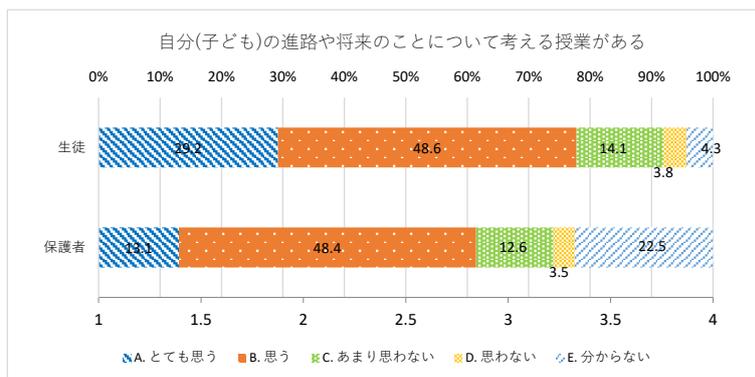
生徒・保護者共に学校での過ごし方やルールについて評価が高いことがみとれます。「あたたかい集団」という集団作りの目標や「たすき」の共通言語が集団での生活や指導において、非常に効果的に働いていることが伺えました。

◇学校行事について



今年度は天候による運動会の延期もありましたが、学校行事については生徒・保護者、地域の3者いずれも9割以上が肯定的評価をしています。生徒の主体性伸長を考えた教員の工夫や熱意を感じられる一方で、教員の多忙化も懸念され、負担軽減のために内容の変更や精選が必要な部分もあると思います。

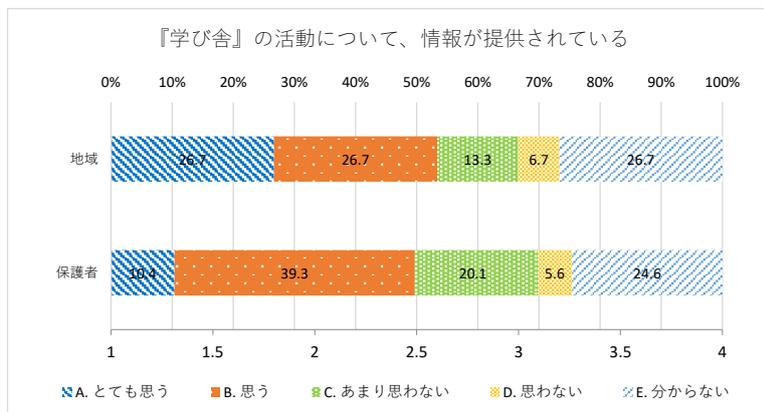
◇キャリア教育について



【考察】

キャリア教育に関わる2項目について2・3年生の肯定的評価が昨年より5%以上上昇しています。地域のご協力の職場体験、高校の教員のご協力の高校授業体験、千歳ゼミ等が、生徒の評価につながっていると思います。それに対して保護者の評価はそれほど伸びておらず、体験先や高校の紹介、生徒が作成した新聞等の情報共有の方法を検討する必要があると感じました。

◇地域との連携について



地域との連携としては、職場体験、児童館のお祭りへの参加、千歳ゼミの生徒による避難所開設訓練への参加等があります。地域との連携や学び舎についての項目は、「わからない」の回答が多く、例年地域・保護者の肯定的評価も半分～半分以下に留まります。地域との日頃からの情報共有や9年教育についての連携の在り方・情報発信の方法について課題を感じます。

【まとめ】

生徒のアンケートでは5%以上アップしたものが4項目あり、その他においても例年と同程度の項目が多く、全体として良好な結果であり、多くの教員が生徒をよりよく育成しようという熱意をもって取り組んでいる結果だと思います。またアンケート結果からICT化が年々進んでいることが伺えました。これについては良さがある一方で、使う際のリテラシー教育の重要性についても考えるべきであると活発に意見が出されました。ICT機器については子どもたちの方が詳しい場合も多く、保護者も共に学び、考える必要があると感じました。またこのことに限らず、学校で行われていることをすべて学校だけに任せるのではなく、保護者も関心をもつこと、時には地域のかみお借りして生徒たちを見守っていくことが、生徒たちのより良い学校生活につながるのではないかと感じました。